

# 特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所

代表者	理事長 新藤 武義
所在地	〒408-0204 山梨県北杜市明野町上手8310
設立年月日	2002年 9月11日
URL	http://kaya-net.jp/

## 【設立趣旨】

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所（通称：かやぶん）は、山梨県北杜市を中心とした、地域の文化財についての情報を広く市民に提供し、地域史に関する知識・理解の深化や、文化財保護意識の高揚を図ることを目的に設立されました。

## 【沿革】

当法人の母体は、旧明野村（現北杜市明野町）の地域の歴史と文化財を学ぶ人達の集まり「明野村文化協会郷土研究部」でした。地域の歴史と文化財を次の世代に伝え、よりよい地域をつくる礎にしたい、というのが郷土研究部の部員の願いでしたが、調査を進めるうちに、文化財が生活環境の変化とともに失われていっていることに気がきました。

そのような事実を受け、より地域の文化財を保護し、後世に伝えていくことができる団体として、当法人は2002年9月11日に誕生しました。

2004年11月には、旧明野村を含む7町村が合併し北杜市が誕生しました（2006年3月には新たに小淵沢町が加わる）。それに先がけて同年10月より、当法人では、北杜市埋蔵文化財センター・明野歴史民俗資料館の指定管理運営を北杜市より委託されています。

2009年10月現在、会員32名（内、理事長1名、副理事長1名、理事3名、監事1名）・職員2名（学芸員1名、事務員1名）。

## 【活動目的】

地域の文化財についての情報を、展示や体験教室、文化財活用イベント等を通して、子どもから大人まで、幅広い世代の市民に伝えることを目的として活動しています。それにより、地域の歴史に関する知識や理解が深まり、文化財の保護に対する意識が高まることを、また目指します。

## 【活動内容】

### ①北杜市埋蔵文化財センター・明野歴史民俗資料館の指定管理運営

2館の指定管理運営を行なっています。埋蔵文化財センターは、県内の他の縄文時代関連の博物館等施設が連携した「縄文王国山梨」に参加し、イベント開催や小冊子発行を行っています。歴史民俗資料館では、



縄文王国山梨イベント（土偶作り体験）

年2回企画展を開催しています（2009年度は「ほくと文化財の家」と「人生儀礼～誕生・結婚・葬送～」を開催）。市内外の学校等の見学を受け入れ、依頼がある場合、館外での出張授業等も行ないます。

### ②地域小中学生対象 伝統文化体験教室の実施

囲碁教室・茶道教室・郷土食作り・昔の畑作り体験などの、伝統文化の体験教室「ドキドキ!! まいぶんシリーズ」を、平日放課後及び土日祝日に実施しています。

（文化庁「地域人材の活用による文化活動支援事業」採択事業）



こども神楽の奉納

### ③地域小中学生対象 伝統芸能「大和神楽」伝習教室の実施

地域に伝わる「大和神楽」の伝習教室「こども神楽教室」を、市内小中学生を対象として実施しています。神楽の舞及び楽（篠笛・和太鼓）を、地域神社の神楽保存会の方に教えていただいています。春には、神社の春季例大祭で奉納させていただきます。



伝統文化体験教室（茶道）

（財団法人 伝統文化活性化国民協会「伝統文化こども教室」採択事業）

### ④重要文化財「八代家住宅」活用事業

国指定重要文化財「八代家住宅」において活用イベントを実施しています。2009年度は「八代家で夕涼み」・「八代家でお月見」・「八代家で冬支度」の3つのイベントを開催。イベントにあたっては、「八代家住宅サポーターズ」というボランティアを集め、企画から当日の運営まで関わってもらい、一緒にイベントを実施しています。



八代家住宅活用イベント

（文化庁「NPOによる文化財建造物活用モデル事業」採択事業）

### ⑤「新しい郷土をカルタで知ろう！プロジェクト」事業

合併によって誕生した北杜市の歴史と文化について、より市民に知ってもらうため、カルタ「ほくと市 もっと知ろうカルタ～歴史と文化～」を作成します。絵札の絵と読札の読み句は市民から募集します。（「花王・コミュニティミュージアム・プログラム2009」採択事業）

## 【活動上の課題と今後の展望】

地域において、NPOに対する理解がまだあまりなされておらず、且つ、当法人の存在も浸透していないため、まずは、活動を通して当法人の存在やその活動内容を広く伝えることを目指します。より効果的・多角的な活動をするために、会員数の増加も期待します。

設立当初は、旧明野村についての活動が多かった当法人ですが、北杜市に合併した現在、より広い範囲を対象とした活動を行なっていきたい、と思っています。